

平成 27 年度 事業報告について

I 平成 27 年度事業の概括

平成27年度は、「生活困窮者自立支援法」、「子ども・子育て支援新制度」、「介護保険制度改正」、「社会福祉法改正」という4つの法律や制度の施行、改正を踏まえて、これまで継続して来た事業の見直しや変更、新たな対応を行ってきた。

「生活困窮者自立支援法」施行に関しては、生活福祉資金制度の貸付要件等の見直しが行われ、区役所保護課に新設された「くらし支援窓口」と連携して相談援助を行うことにより、効果的に低所得世帯の自立を支援できるようになった。また、制度の中で支援が難しい場合には、平成27年度から新たに配置された「地域福祉ネットワーク」が関係機関との連携により、区社協で取り組みを始めた「フードドライブ」を一部使った食品の提供を含め、相談対応や自立促進を図った。

「子ども・子育て支援新制度」に関しては、放課後児童クラブ（学童保育）の入会対象年齢が「おおむね10歳未満」から「小学生」に国の基準が拡大されたことにより、神戸市は平成27年度から平成31年度までに段階的に入会対象年齢を6年生まで引き上げていくこととなった。それに対応するため、児童館や学童保育コーナーの環境整備、職員研修を実施し、受入れ体制の支援を行った。

「介護保険制度改正」に関しては、地域の支え合い活動を推進していくために、区社協の地域福祉活動コーディネーターが「生活支援コーディネーター」に、各あんしんすこやかセンターに配置されている見守り推進員が「地域支え合い推進員」に切り替わり、共に協力・連携して地域の高齢者の見守り活動や介護予防の取り組みを推進した。

「社会福祉法改正」については、社会福祉法人制度の見直しにより、平成28年4月1日より社会福祉法人の地域における公益的な取り組みが責務化された。兵庫区内の社会福祉法人は、法改正の動きを見据え、施設種別を越えたネットワークづくりを行い、連携・協働して地域公益活動を推進していくため、「兵庫区社会福祉法人等連絡協議会」の組織化を進め、区社協も社会福祉法人関係者と協議を重ね、連絡協議会の事務局としての役割を果たすこととなった。

各事業については、次の3点の事業方針のもと、それぞれに重点事業を定めて取り組んだ。

1. ともに支え合う福祉のまちづくり
2. 地域福祉活動・ボランティア活動の推進と活動の基盤づくり
3. 地域を支える福祉のこころづくり

II 事業実施状況

1 ともに支え合う福祉のまちづくり

(1) 地域福祉の推進

ア. 「地域福祉ネットワーク事業」の実施 <新規>

平成23年度から中央区を皮切りに各区で進められてきた「地域福祉ネットワーク事業」を平成27年度から兵庫区においても開始した。

本事業で配置された「地域福祉ネットワークカー」は、制度の狭間や既存の制度・サービスでは解決できない福祉課題について、個別の相談支援を行うとともに、関係機関等と連携して解決にあたった。

(ア) 地域福祉ネットワークカーの取り組み事例

事例1 理解力が不十分な中高年男性の見守り体制の構築

母親と二人暮らしの50代男性。理解力や状況判断力に困難さはあるが、障害者手帳の交付は受けていない。母親が亡くなった直後、一人で自立した生活を送ることができなかつたので、勤務先の上司、地区の民生委員や母を担当していたあんしんすこやかセンターとも連携し見守り体制を構築した。

事例2 高齢の父親と二人暮らし世帯の緊急食糧支援と家計相談支援

父親の年金で生活をしている50代男性で、生活費のコントロールが上手くできず、出費がかさみ、食費もままならない状況。次の年金支給まで1ヵ月余りを残すも所持金が底をついたため、フードバンク関西からの緊急食糧提供を受けるとともに、滞納支出の在り方などを一緒に考え家計支援を行った。

イ. 年賀状プロジェクト ～あったかハートを贈ろう～

障がいのあることや世代を超えた繋がりを目的に、児童館を利用している児童や乳幼児親子が、障がい者作業所（いかり作業所）で作成された紙すき和紙で年賀状を作り、地域の高齢者の方々へお届けした。

訪問給食グループ名	日時	訪問児童館	参加者数(人)
平野地区民児協給食グループ	H28.1.13	平野児童館	70
平野地域福祉センター運営委員会	H28.1.16		60
夢野南地区民児協給食グループ	H28.1.18	夢野児童館	64
湊山仲よし会	H28.1.13	雪御所児童館	28
石井東給食サービスグループ	H28.1.14		75
明親ふれあい給食グループ	H28.1.20	松原児童館	95
湊川ほほえみ給食グループ	H28.1.19	湊川児童館	72
荒田1, 2丁目ふれあい給食部	H28.1.23	中道児童館	52
中道給食ローズ	H28.1.14		87
浜木綿ふれあい給食会	H28.1.21	御崎児童館	55
浜山ふれあい給食サービス	H28.1.23		52

水木ふれあいのまちづくり協議会	H28.1.13	兵庫児童館	46
-----------------	----------	-------	----

ウ. 「兵庫区社会福祉法人等連絡協議会（愛称：ほっとかへんネット兵庫）」の組織化支援

兵庫区内の社会福祉法人等の施設種別を越えたネットワークづくりを行い、連携・協働して地域公益活動を推進していくため、社会福祉法人関係者と協議を重ね、事務局として連絡協議会の組織化を支援した。

(ア) 「兵庫区社会福祉法人等連絡協議会（愛称：ほっとかへんネット兵庫）」設立総会

日 時 平成 28 年 3 月 14 日(月) 14:00～15:45
 会 場 兵庫区役所公会堂大集会場
 内 容 議事（規約、役員、運営体制、運営方針）
 記念講演 「社会福祉法人の地域公益活動について」
 桃山学院大学副学長 松端 克文 氏
 参加者 区内社会福祉法人 20 法人 31 人

エ. 介護者の会「癒しの会」の開催

現に家族の看護や介護をしている方やその経験者が、介護に関する情報交換をしたり、介護の苦勞や悩みについてことばに出して話したりする活動を通じて互いに支え合う取り組みを進めるとともに、介護経験を活かした活動が展開できるよう学習の機会をもった。

日 時 平成 27 年 4 月 9 日(木)～平成 28 年 2 月 18 日(木) 13:00～15:30
 (偶数月に開催、1 年間で 6 回)
 会 場 兵庫区ボランティアルーム
 延参加者 52 名

(2) 高齢者福祉の推進



・・・赤い羽根共同募金配分金を活用した事業



ア. 友愛訪問活動、ふれあい給食活動によるひとりぐらし高齢者等の見守りの充実

(ア) 活動状況 ()内は前年度の実績

友愛訪問活動	グループ数	172(175)	友愛訪問活動、給食サービス活動には神戸市の助成要綱にもとづき助成金を交付した。
	対象高齢者数	2,102(2,161)	
	延訪問回数	84,326(87,461)	
給食サービス活動	グループ数	31(32)	
	実施回数	378(396)	

	参加延人数	12,953(13,924)
--	-------	----------------

イ. 高齢者見守り調査の実施

地域での見守り活動など必要な支援を行うために、65歳以上の単身世帯と75歳以上の高齢者世帯の実態調査を民生委員児童委員の協力により実施した。また、訪問調査により把握した単身世帯等について民生委員児童委員が「高齢者見守り台帳」を作成し、地域見守り活動の基礎資料とした。

郵送調査	1,331 世帯
訪問調査	1,685 世帯
高齢者見守り台帳(平成 27 年度末)	10,698 世帯(福祉情報システム登録世帯数)

ウ. 地域見守り活動推進事業の実施

ひとりぐらし高齢者が、地域の中で温かく見守られながら暮らせるよう、民生委員児童委員や友愛訪問ボランティア等の地域の協力者と連携・協力して見守り活動を推進した。

(ア) 地域支え合い推進員との連携

地域見守り活動の支援を目的として、在宅介護の相談窓口である区内 8 か所の「あんしんすこやかセンター」に配置された地域支え合い推進員 8 名と連携し、地域の見守り活動を支援した。

(イ) あんしんすこやかルームの設置、見守り推進員(高齢世帯生活援助員)の配置

あんしんすこやかセンターのランチとして、高齢化率の高い公営住宅の空き住戸などを活用し設置した「あんしんすこやかルーム」4 か所に見守り推進員 5 名を配置し、見守り活動やコミュニティづくり、介護予防等の事業を推進した。

(ウ) 地域支え合い連絡会の開催

見守り活動の課題や個別ケースの対応を検討し、地域の支え合いを推進するため、地区民児協ごとの地域支え合い連絡会を開催した。また、より小地域での地域支え合い連絡会の開催を支援するとともに、ひとりぐらし高齢者の把握を目的とした実態調査や友愛訪問グループの結成促進など見守り活動の強化を図った。

地域支え合い連絡会の開催(地区民児協ごと)	59 回
参加者	民生委員児童委員、地域支え合い推進員、区あんしんすこやか職員、区社協等

(エ) 生活支援体制整備事業「協議体」の設置・運営の準備

いつまでも住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるよう地域における支え合い活動を推進することを目的として、生活支援に関する地域の社会資源や地域課題について、情報共有や意見交換をする場としての「協議体」の設置に向けてキックオフ研修会を開催した。

日時	平成 28 年 3 月 24 日(木) 14:30~15:10
会場	兵庫区役所公会堂大集会場
内容	講演 「介護保険の改正と協議体」の設置について 神戸市保健福祉局介護保険課在宅支援係 吉岡 真理 係長

(オ) 小地域友愛訪問活動交流会の開催

小地域単位での見守り活動について、きめ細かい情報交換や支援活動の検討を行うため、友愛訪問ボランティアに対する交流会等を各地域で開催した。

開催回数 延べ 23回

エ. コミュニティサポートグループ育成支援事業の推進

地域住民による見守りのグループや、高齢者の支援につながるボランティアグループを増やしていこうとする事業を、地域支え合い推進員を中心として推進した。

趣味活動等のグループ結成支援(絵手紙・茶話会・手話 他)	20事業
友愛訪問グループ支援(ボランティア研修会・交流会 他)	4事業
介護予防・仲間づくり交流事業(ウォーキング、認知症予防体操 他)	10事業

オ. テレホンサポートの実施

電話による「友愛訪問」を希望するひとりぐらし高齢者に対して、ボランティアグループによるテレホンサポートを実施した。

対象者 26名(週1回程度実施)

カ. 高齢者情報紙「いきいきタイムズ」の発行

ひとりぐらし高齢者等に対して、より身近な福祉や健康に関する情報や暮らしの情報を提供するため、隔月(偶数月)に情報紙を発行した。(あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員との共同作成)

キ. 兵庫区地域ケアネットワークとの連携

高齢者の自立生活の支援等を目的として、区内の保健・医療・福祉に携わる団体・事業者、行政等で構成される兵庫区地域ケアネットワーク(地域福祉部会)に参加して他団体との連携を図り、公私の福祉活動・サービス事業者が一体となった支援方策を検討した。

(3) 障がい者福祉の推進



ア. 障がい者サロン「ハートンサロン」の開催

障がいの種別によらず、障がいのある方が気楽に集まり、情報交換やふれあい交流を図る機会とするため、兵庫区福祉団体連合会と連携・協力して、隔月に開催した。

日時	平成27年4月9日(木)～平成28年2月18日(木) 10:00～11:40 (偶数月に開催、1年間で6回)
会場	神戸市立心身障害福祉センター3階 大会議室
内容	4月 健康体操「元気に生きていくために」 6月 出前トーク「いよいよ始まるマイナンバー制度」 8月 「夏休みこども福祉体験」参加児童との交流 10月 健康講座「いきいき長寿の食生活」

12月 クリスマス会
2月 製作ワークショップ「ハートン芸術まつり」

延参加者 488名

イ. 障がい者団体・障がい者作業所等の活動支援

障がい者の社会参加の促進を図るために、障がい者団体の社会見学等の行事や区内の障がい者作業所の交流事業等に経費助成を行うとともに活動支援を行った。

障がい者団体 4団体
障がい者作業所等 9か所

ウ. 兵庫区自立支援協議会への参加

障がい者が住みなれた地域で安心して暮らせるための支援方を協議する「兵庫区自立支援協議会」に参加し、他団体との連携を図りながら事業推進に協力した。

協議会参加団体 43施設・団体

エ. 手話入門講座

聴覚障がい者への理解を深め、手話通訳ボランティアとなるための初歩的な技術を身につけることを目的として開催した。

期 間 平成27年4月14日(火)～27年9月15日(火)18:30～20:15 計22回
会 場 神戸市立心身障害福祉センター3階 研修室
参加者 受講申込30名 修了者20名 *H4年度からの延修了者数446名
協 力 兵庫区聴力言語障害者福祉協会、手話通訳グループ「葦の会」

オ. 障がいのある子どもと家族の交流会<新規>

(ア) とんで!はずんで!たのしいスポーツ

目 的 在学の障がいのある子どもがスポーツの楽しさを味わうとともに、その家族が交流する。
対 象 区内在住または在学の障がいのある子どもとその家族
日 時 平成27年7月9日(木)15:45～16:45
平成27年11月30日(月)16:00～17:00
会 場 富士通テン体育館
内 容 様々な道具を使って、体全体を動かす気軽なスポーツ
参加者 延べ19名(親子11組)

(イ) マリンバで楽しいクリスマス

目 的 障がいのある子どもの余暇活動の場づくり及び家族同士の交流やリフレッシュの時間をもつ。
日 時 平成27年12月19日(土)13:30～15:30
会 場 兵庫区公会堂 大集会場
内 容 ①障がいのある方によるマリンバ演奏 ②ケーキづくりとティータイム ③メッセージカードづくりとクリスマスツリーへのかざりつけ
参加者 17名

(4) 児童の健全育成

ア. 児童館の管理運営および運営支援

区内市社協運営の4児童館、3放課後児童クラブ、1放課後こどもひろばの管理運営および他法人運営の4児童館、1放課後児童クラブの運営支援を行った。

(ア) 平成27年度 区社協受託児童館の利用状況 (H28年3月末開館日数：293日)

児童館名	年間利用者数	一日平均	放課後児童クラブ登録児童数※
湊川児童館	12,771人	43.6人	32人
中道児童館	21,457人	73.2人	47人
下沢学童保育コーナー	6,788人	23.2人	38人
御崎児童館	13,436人	45.8人	25人
和田岬学童保育コーナー	10,411人	35.5人	46人
和田岬っこゆうゆうひろば	2,626人	10.3人	
兵庫児童館	20,375人	69.5人	50人
兵庫大開学童保育コーナー	15,212人	51.9人	72人
合 計	103,076人	44.1人	301人

<参考>他法人運営児童館

児童館名	年間利用者数	一日平均	放課後児童クラブ登録児童数
雪御所児童館	12,493人	42.6人	24人
平野児童館	15,134人	51.7人	53人
夢野児童館	25,861人	88.3人	78人
松原児童館	21,211人	72.4人	40人
明親学童保育コーナー	12,671人	43.2人	62人

(イ) 職員研修会開催

*指導員研修

日 時	内 容	会場	参加者
6月16日(火)	高学年対応のあそび	北区すずらんホール	6人
8月20日(木)	乳児の遊びとその保護者支援	兵庫区役所別館 講堂	8人
9月 8日(火)	企画力の向上	兵庫公会堂 大集会場	7人

*放課後児童支援員研修

日 時	内 容	会場	参加者
5月12日(火)	新制度の説明及びコンプライアンス	兵庫公会堂 大集会場	20人
11月10日(火)	安全管理・安全指導防災	兵庫区役所別館 講堂	21人

(ウ) 巡回相談・支援

子育てコーディネーターが、神戸市立の区内児童館・学童保育コーナーに出向き、

巡回相談・運営支援（児童館事業 8 回、親子館事業 8 回、放課後児童クラブ 12 回、社協児童館事務 4 回、新任指導員実践指導 4 回、その他個別支援）を行った。

イ. 児童館の子育て支援・児童健全育成事業の活動支援

児童館での子育て支援事業および、健全育成事業を開催し、児童館活動を支援した。
児童館合同行事として

「第 18 回ふれあい兵庫 福祉・健康フェア」参加

「兵庫区地域子育てフェア」参加

ウ. 子育てコミュニティ育成事業の推進

地域が主体的に子どもの健全育成を図ることを目的に、各児童館単位で各種団体によって構成された開放委員会（子育てコミュニティ協議会）が、日・祝日に児童館などを活用して、児童館の自由開放や野外活動、工作教室、各種まつり、もちつき、川遊びなどの行事を実施した。

実施状況：4 児童館実施 行事開放 23 回 開放委員会 7 回

エ. 地域での子育て・親育ち応援プログラムの推進

(ア) 子ども「防犯ウオッチ」＜新規＞

a 防犯弱者を見守る意識の向上を図る支援者向け講演会

日 時 平成 27 年 7 月 12 日(日) 10:00～12:00

会 場 兵庫公会堂 大集会場

講 師 安全インストラクター武田信彦氏

対 象 児童館職員、地域支援者

参加者 51 名

b 防犯意識の向上を図る児童館での実施

日 時 平成 27 年 8 月～平成 28 年 3 月 延べ 23 回実施

会 場 区内 8 児童館及びその周辺地域

内 容 地域方々とともに子ども自らが防犯について考え、リスクマネージメント能力の向上を図るプログラム

参加者 延べ 675 名

(イ) 出前親子館の実施 「ハートンママカフェ」

目 的 保護者同士の交流や子育てのストレス解消

日 時 平成 27 年 7 月～8 月 10:00～12:00 9 回実施

会 場 各地域福祉センター等

内 容 ふれあい喫茶ママカフェの運営、主任児童委員活動の紹介
地域の子育て活動紹介 など

参加者 190 名（親子 91 組） 主任児童委員のべ 83 名

(ウ) こどもサマーフェスタの開催

目 的 小学生が心の成長において情緒の豊かさが育めるような経験をする。

日 時 平成 27 年 8 月 6 日(木) 11:00～と 14:00～の二回公演

会 場 兵庫公会堂 大集会場

内 容 総合工作芸術家「だるま森+えりこ」による子ども向け演劇

演題「つき豆ダンゴ」

参加者 436名（親子13組）主任児童委員14名 児童館職員等48名
合計498名

(エ) 兵庫区地域子育てフェアの開催

目的 親子で楽しく集う機会を設け、在宅育児家庭支援の強化を図る。
対象 区内の就園前乳幼児とその保護者
日時 平成27年12月1日(火) 10:30～11:30
会場 兵庫公会堂 大集会場
内容 音楽鑑賞(マリンバ演奏)と親子ふれあい遊び
参加者 224名（親子104組） 来賓・スタッフ26名 合計250名

(オ) 子育て情報紙「おててつないで」の発行

子育て家庭に対して、身近な子育て支援情報を提供するため、兵庫区を3エリア（北部、中部、南部）に分け、毎月1回子育て情報紙を発行した。また、区社協ホームページでも掲載し子育て情報提供を行った。

（子育て支援センター兵庫、兵庫区子育て支援室、まち育てサポーターとの共同作成）

配布先 区内の児童館、保育所、地域福祉センターなど
発行部数 2,100部（北部、中部、南部エリア別に年間11回発行）

2 地域福祉活動・ボランティア活動の推進と活動の基盤づくり

(1) 兵庫区ボランティアセンターの運営

ア. ボランティア登録・相談

ボランティア登録	個人	129名
	団体	114グループ（2,148名）
ニード（申込）件数	225件	
マッチング（成立）件数	201件	

イ. ボランティア活動の支援

(ア) ボランティアルームの運営（ボランティアの活動場所の提供／荒田公園内）
ルーム貸出回数 178回

(イ) 機材の貸し出し

	保有数	貸出実績	
車いす	7台	1件	3台
高齢者擬似体験グッズ	10セット	5件	16セット
妊産婦擬似体験グッズ	3セット	2件	5セット
新生児抱き人形	1体	1件	1体
アイマスク	39枚	1件	30枚
視野狭窄メガネ	10本	3件	14本
白杖	8本	件	本
テント	3張	1件	3張

兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の受付	462 件
兵庫県ボランティア活動等行事用保険の受付	161 件

ウ. ボランティアグループへの活動への助成

県民ボランタリー活動助成のエントリー受付	93 件
----------------------	------

(2) 各種研修会・講座の開催

ア. ひょうごっこサポーター養成講座 <新規>

兵庫区内の小学校・特別支援学校4校からの障がいのある児童に対する支援ボランティア依頼があったことを受け、障がいのある子どもの特性と支援方法など学校でボランティアとして活動していくために必要な知識を学ぶため、講座を開催した。

日 時	平成 27 年 10 月 28 日 (水)、11 月 4 日 (水)、11 月 18 日 (水)
会 場	兵庫区役所別館 4 階講堂
講 師	海士 美雪 氏 (あしやNPOセンター) 上野 昌稔 氏 (神戸市教育委員会特別支援教育課) 北村 淳 氏 (放課後等デイサービス よりみちクラブ・元小学校教諭)
受講者数	延べ 60 人

イ. 登録ボランティア交流会

各自がボランティアの基本に立ち返り、自身のボランティア観や活動の実態をみつめなおすことと、ボランティア同士がつながり、刺激し合いながらよりよい活動ができるようになることを目的として実施した。

日 時	平成 27 年 11 月 26 日(木) 13 時 30 分～16 時 30 分
会 場	兵庫公会堂 大集会場
講 師	垂井 加寿恵 氏 (神戸学院大学ポートアイランドキャンパスボランティア活動支援室)
テーマ	「再発見！ボランティア活動の魅力」
参加者	27 名

ウ. ボランティア作品展

日頃のボランティア活動で制作する作品を展示し、作品発表の場を提供するとともに、ボランティア活動に対する理解の促進を図ることを目的として開催した。

日 時	平成 27 年 12 月 1 日(火)～1 月 29 日(金) (2 か月間)
会 場	ミナチカ・ギャラリー
出 展	団体 2 グループ・個人 2 人

(3) 民間社会福祉財源の充実と活用



ア. 共同募金運動の推進

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、共同募金を財源として福祉啓発事業や民間福祉活動への助成等の事業を行った。



(ア) 赤い羽根共同募金

募金実績額 8,340,709 円

地域配分金額 5,962,000 円 (前年度募金実績額に応じた兵庫区への配分)

実施事業の内容	件数等	金額	備考
福祉関係団体の活動支援	16団体	2,270,000円	社会福祉関係団体
民間社会福祉施設への助成	10施設	275,000円	赤ちゃんホーム、託児所、民間保育所
児童健全育成事業の推進	19件	311,632円	公立保育所、児童館
募金活動の推進	2件	1,090,000円	共同募金・歳末たすけあいの推進にかかる経費
啓発・情報提供活動の推進	4件	1,479,075円	福祉・健康フェア、さんぽみちの発行 福祉講演会・ハートン作品展
車いす貸出事業	—	401,565円	
ハートンサロン事業	1件	134,728円	
計	—	5,962,000円	



(イ) 歳末たすけあい募金

募金実績額 3,197,037 円

配分金額 3,655,917 円 (26年度繰越金含む)

実施事業の内容	件数等	金額	備考
年末年始地域見守り事業	7,700冊	915,725円	ひとりぐらし高齢者へ あんしんカレンダー配布
地域子育てサロン年末年始特別事業	13団体	455,000円	
福祉活動年末年始特別事業	35団体	1,329,192円	ふれあい給食活動、 生きがいデイサービス等
施設入所者年末年始特別事業	9施設	235,000円	児童養護施設 等
障がい者作業所年末年始特別事業	14施設	476,000円	
障がい者団体年末特別事業	6団体	205,000円	
(新)生活困窮者支援等、福祉活動	2団体	40,000円	子どもの学習支援事業

計	80件	3,655,917円	
次年度繰越金	—	123,501円	前年度繰越金 582,381円を含む

イ. 善意銀行の運営

広く区民から善意の預託を受け、これを社会福祉団体や社会福祉施設、地域福祉活動グループ等へ払い出しをした。

預託 29件 810,040円（物品預託の評価額 29,000円を含む）
 払出 2,544,000円（物品払出の評価額 29,000円を含む）

実施事業の内容	件数等	金額	備考
障がい者団体の活動支援	5件	175,000円	
障がい者作業所の社会参加促進	9施設	265,000円	障がい児(者)福祉 787,000円
障がい者作業所等の環境改善等の促進	4施設	247,000円	
障がい者施設への指定寄付	1施設	100,000円	
母子福祉団体の活動支援	1団体	26,000円	児童・母子福祉 453,000円
児童養護施設の児童映画招待	3施設	27,000円	
児童養護・母子生活支援施設の交流事業	4施設	160,000円	
青少年育成協議会の活動支援	1団体	240,000円	
ひとりぐらし高齢者給食活動の助成	30団体	985,000円	高齢者福祉 1,225,000円
ひとりぐらし高齢者給食活動の器材買換助成	8団体	240,000円	
年末野外生活者支援事業	1団体	50,000円	その他援護活動 50,000円
計	66件	2,515,000円	

(4) 社会福祉関係団体等との連携・協力関係の推進

ア. 兵庫区総合防災訓練「安全・安心フェア」における「災害時要援護者の避難訓練」への参画

大規模災害時に迅速かつ適切な行動をとることが困難な高齢者や障がい者を守る目的から、兵庫区合同防災訓練に参画し、災害時における要援護者に対する支援方策や関係機関、団体等との連携のあり方を確認した。

日時 平成27年7月26日(日) 9:00～12:00
 会場 高齢者ケアセンターひょうご

(5) 相談・援助事業の推進

ア. 生活福祉資金貸付事業の実施

低所得世帯・障がい者世帯・高齢者世帯等の経済的自立、在宅福祉の推進と社会参加の促進、地域社会での安定した生活を図るため、資金の貸付相談対応及び受付業務を実施した。

貸付資金種類	相談件数	申込件数	貸付件数	貸付決定金額
教育支援資金	1,228 件	52 件	44 件	15,194,400 円
福祉資金	956 件	11 件	10 件	2,977,000 円
緊急小口資金	116 件	12 件	12 件	1,189,000 円
総合支援資金	296 件	5 件	4 件	850,000 円
合 計	2,596 件	80 件	70 件	20,210,400 円

※1 貸付資金の交付・償還は、兵庫県社会福祉協議会にて実施。

※2 貸付件数および貸付決定金額は、貸付決定後の貸付辞退分(8 件 2,113,000 円)を除く。

イ. 旧要保護者緊急援護資金貸付事業の実施

貸付金の償還を受付した。※平成 22 年度から償還事務のみ実施。

償還件数 1 件 (償還金額 7,000 円)

ウ. 心配ごと相談所の運営

相談員は、民生委員児童委員 16 名で構成し、さまざまな相談を受けるとともに、各種制度や関係機関の紹介などの情報提供を行った。

相談日： 毎月第 1・3 金曜日 13:30～15:30 兵庫区役所内

相談件数： 44 件



エ. 車いす貸出事業の実施

在宅生活等で一時的に車いすが必要な区民に貸し出した。(3 か月単位、最長 1 年)

保有台数 86 台 (うち地域福祉センター設置台数 34 台)

延利用件数 218 件 (区社協 114 件、地域福祉センター 104 件)

3 地域を支える福祉のこころづくり

(1) 福祉教育の推進

子どもたちが様々な人々とふれあい、人を思いやる心を育むよう、様々な機会を通して福祉教育の推進を図るとともに、啓発に努めた。

ア. 「やさしさと思いやり」教育の推進支援事業

区内の小・中学校が企画・実施する福祉教育や地域学習の支援を行った。

事業内容	小・中学生の地域行事への参加、学校行事への招待などの地域とのふれあい交流、車いす介助などの体験や手話の学習を通じた福祉教育の推進など
実施校	小学校 8 校、中学校 5 校、特別支援学校 1 校

イ. 夏休みこども福祉体験の開催

夏休みに小学生を対象として、簡単な手話を学ぶとともに、障がい者サロン「ハートンサロン」への参加と交流を通して、障がい者への理解を深めることを目的として開催した。

日時	【第1日】平成27年8月1日(土) 9:30~12:00 【第2日】平成27年8月6日(木) 9:30~11:40
会場	【第1日】兵庫公会堂 大集会場 【第2日】神戸市立心身障害福祉センター大会議室
参加者	【第1日】27名 【第2日】25名

ウ. 春のこども手話教室の開催

春休みに小学生を対象として、ゲームや歌を通して簡単な手話を学び、聴覚障がい者への理解を深めることを目的として開催した。

日時	平成28年3月26日(土) 9:30~12:00
会場	兵庫公会堂 大集会場
参加者	48名

(2) 啓発事業

ア. 「やさしさと思いやりのまち 兵庫」の推進

兵庫区では区民一人ひとりが毎日を気持ちよく過ごせるように「やさしさと思いやりのまち兵庫」を推進しており、区社協でもこの事業を積極的に推進している。



(ア) 第18回ふれあい兵庫 福祉・健康フェア

「やさしさと思いやりのまち 兵庫」の推進事業の一環として、区内の社会福祉施設・団体、ボランティアの活動を紹介するとともに、障がい、高齢、子ども等、市民相互の交流を推進するため、福祉・健康フェアを実施した。

日時	平成27年10月17日(土) 11:00~15:30
----	----------------------------

会 場	湊川公園
内 容	ステージ：福祉団体、地元団体、ボランティアグループ等の出演、 キャラクターショーなど 広 場：バザー、医療・健康相談、肺年齢チェック、ボランティア アコーナー（バルーンアートや高齢者擬似体験）など
参加団体	ステージ：14 団体 広場：32 団体
参加者	8,800 名



(イ) 福祉講演会

福祉に対する関心を深めていただくために開催するとともに、公会堂前ホワイエにて、区内障がい者作業所の活動紹介および自主製品販売を行った。

日 時	平成 28 年 3 月 14 日(月) 10:30～12:00
会 場	兵庫公会堂 大集会場
講 師	江戸家小猫 氏 (ものまね・演芸家)
内 容	「芸を通じて学んだこと ～笑い・健康・生きがい～」
参加者	240 名
協 力	NPO 法人おーけすとら・ぴっと Patch、NPO 法人 海、 NPO 法人 WA ネットワーク神戸



(ウ) ハートンふれあい作品展

障がいに対する理解を深めるため、区内の障がいのある方が、日頃から取り組んでいる絵画や手芸品などの作品展示会を開催した。

日 時	平成 28 年 3 月 13 日(日)・3 月 14 日(月)
会 場	兵庫公会堂 第 2・3 集会室
共 催	兵庫区福祉団体連合会
参加者	303 名

イ. 福祉人権講演会（友愛訪問活動研修会）の開催

区民の福祉に対する関心を高め、福祉への啓発を図るとともに、友愛訪問活動グループの研修を兼ねて兵庫区と共催で福祉人権講演会を開催した。

日 時	平成 27 年 12 月 16 日 (水) 14:30～ 16:00
会 場	兵庫公会堂 大集会場
講 師	露の団姫 (つゆのまるこ) 氏 (落語家・僧侶)
テーマ	「一隅を照らす～自分の持ち場で一生懸命～」
参加者	125 名 (うち友愛訪問活動ボランティア 6 名)

ウ. 神戸まつり「はっぴいひろば」への参加

「ともに生きる」福祉のまちづくりをめざし、「思いやり」「譲り合い」「助け合い」等の福祉の心を伸ばし育て、ボランティア活動等福祉活動の実践につなげていこうとする市民運動である「ふれあいのまちKOB E・愛の輪運動」の展開や、善意銀行、共同募金活動の広報・啓発を目的としてブースに出展参加した。

エ. フードドライブ <新規>

一般家庭や食品関連企業等から大量に食品ロスが発生している一方、食品を必要とする生活困窮者（世帯）の生活実態がある等、食品ロスの活用を通じて身近な地域における支え合いの仕組みづくりにつなげることを目的として実施した。

また、広報活動を主に小学生やその保護者を対象として広報活動を行い、環境教育や食育の一環として食品を無駄にしない心が培われることをねらいとした。

(ア) 余剰食品の回収

区や地域のイベントにおいて、「もったいない！を、ありがとう🙏にかえよう！！」をキャッチフレーズに、家庭等に眠っている食品を持ち寄ることを呼びかけ、余剰食品の回収活動を実施。集まった食品を、NPO法人フードバンク関西を通じて食品を必要とする方々や福祉団体等に届けた。

実施日	場 所	行 事	持ち寄られた食品
H27.7.18	兵庫大開小学校	青少協夏まつり	玄米、乾麺（うどん・蕎麦・パスタ）、 缶詰、レトルト食品、 調味料、飲料、他 （計 202kg 超）
H27.7.25	会下山小学校	会下山 WaiWai 夏まつり	
H27.8.1	浜山小学校	浜山ふれあい夏まつり	
H27.9.5	笠松商店街	下町ふれあい夏まつり	
H27.10.17	湊川公園	福祉・健康フェア	

イベント以外の個別提供

兵庫区民より …米、菓子、ポテトサラダベース 他
 長田区民より（長田区社協経由）…米、サラダ油

(イ) 食品の提供

a. 既存制度で対応できない生活困窮の方

生活福祉資金の相談者で貸付対応や他の既存制度で対応できなかった方を対象として、NPO法人フードバンク関西との連携により食品を提供した。

支援に当たっては、食品の提供だけを目的とするのではなく、生活の自立や家計相談の契機として実施した。

b. 児童・生徒の学習支援をする団体

①NPO法人ブレンヒューマニティー

兵庫大開地域福祉センターにて週 2 回中学生を対象とした学習支援を実施する団体。12 月の参加者交流会へNPO法人フードバンク関西との連携で食品や飲み物を提供した。

②神戸市兵庫区母子福祉会

むつみ会館にて週 1 回小・中学生を対象とした学習支援を実施している。12 月の参加児童とその保護者、保護者とスタッフとの交流会へ、NPO 法人フードバンク関西との連携で食品や飲み物を提供した。

(3) 区社協事業の広報、福祉情報の提供

インターネットや広報紙を活用して福祉活動に役立つ情報を区民に提供し、福祉活動の活性化を図るとともに、区社協事業への協力やボランティア活動への参加を区民一人ひとりに呼びかけるために、広報活動を行った。

ア. ホームページ運営(URL : <http://hyogoku-shakyo.or.jp>)

昨年度行ったホームページリニューアルにより、心身の機能や利用する環境に関係なくホームページで提供されている情報やサービスを利用できること(ウェブアクセシビリティ)に配慮したホームページとなり、JIS規格の高齢者・障害者等配慮設計指針の達成等級AAに準拠した。



イ. 区社協機関紙「さんぼみち」の発刊

- ・発行回数 年2回(4月、10月)
- ・発行部数 66,000部/回(区内全戸配付)

Ⅲ 会議等

1 兵庫区社協関係

会議名	開催日	会場	議事内容
第1回 評議員会	27.5.27	兵庫公会堂	理事・監事の補充選任について
第1回 理事会	27.5.27	兵庫公会堂	評議員の補充選任について 平成26年度 事業報告について 平成26年度 収支決算報告について (報告)区社協の組織変更について
第2回 評議員会	27.5.27	兵庫公会堂	平成26年度 事業報告について 平成26年度 収支決算報告について (報告)区社協の組織変更について
第2回 理事会	28.3.24	兵庫公会堂	評議員の補充選任について
第3回 評議員会	28.3.24	兵庫公会堂	平成28年度 事業計画(案)について 平成28年度 予算(案)について (報告) 「臨時職員等就業規則」の一部改正について 「事務局規程」の一部改正について 「公印管理規程」の一部改正について 「特定個人情報の適正な
第3回 理事会	28.3.24	兵庫公会堂	平成28年度 事業計画(案)について 平成28年度 予算(案)について (報告)同上
第1回 正副理事長会	27.5.22	区長室	第1回理事会の議案について
第2回 正副理事長会	28.3.16	区役所会議室	第2回理事会の議案について
児童館運営委員会	27.6	区内各児童館	区内8児童館運営委員会 (6月9日~29日)
善意銀行運営委員会	28.2.19	区役所会議室	平成27年度事業報告・決算見込みについて 平成28年度事業計画(案)・予算(案)について

2 監査等

監査名等	実施日	監査者等	内容
監査	27.5.20	監事	平成26年度業務執行状況及び一般会計決算

3 本会役職員が出席した会議等

会議名	開催日	会場
神戸市社会福祉協議会 理事会	27.5.29	神戸市男女共同参画センター

	28. 3.30	たちばな研修センター
区社協役員協議会	28. 2. 3	ANAクラウンプラザホテル神戸
兵庫区総合防災訓練	27.7. 26	高齢者ケアセンターひょうご
神戸市社会福祉大会	27. 9.11	神戸文化ホール 大ホール
新春福祉関係者のつどい	28. 1.22	ANAクラウンプラザホテル神戸
神戸市社会福祉協議会 地域福祉部会	28. 3.22	こうべ市民福祉交流センター